

ぬまた未来共創会議 開催概要（1/2）

1. 目的

- ・将来の人口減少・高齢化を見据えて、住民の視点から、沼田市の現状や将来求める姿などについて意見をもらい、これらを立地適正化計画、沼田市版総合戦略、環境基本計画等の各種計画策定時の基礎資料とする。

2. 開催詳細

【第1部】

- ・開催日時：令和6年8月17日（土） 10:00～12:00
- ・開催場所：白沢地区コミュニティセンター（旧白沢公民館）大研修室
- ・参加者数：13名（大学生、子育て世代、シニア、NPO法人、自治会、移住者）

【第2部】

- ・開催日時：令和6年8月17日（土） 14:00～17:00
- ・開催場所：テラス沼田4階 防災会議室402・403
- ・参加者数：24名（大学生、子育て世代、シニア、NPO法人、自治会、移住者）

3. 内容

●当日スケジュール

【第1部】

時間	内容
10:00～10:20	開会・概要説明
10:20～10:25	自己紹介等
10:25～10:55	テーマ① 「沼田市に住んで良かったこと・困ったことベスト3」(30分)
10:55～11:25	テーマ②「20年後のぬまたはどんな姿？」(30分)
11:25～11:30	発表準備
11:30～11:40	最終発表
11:45～11:50	市長所感
11:50～11:55	事後アンケート記入
12:00	解散

【第2部】

時間	内容
14:00～14:20	開会・概要説明
14:20～14:25	自己紹介等
14:25～14:55	テーマ① 「沼田市に住んで良かったこと・困ったことベスト3」(30分)
14:55～15:05	休憩
15:05～15:35	テーマ②「20年後のぬまたはどんな姿？」(30分)
15:35～15:40	発表準備
15:40～16:10	最終発表
16:10～16:15	総括
16:15～16:20	事後アンケート記入
16:20	解散

●ワークショップ内容

- ・第1部は3グループ、第2部は6グループの計9つのグループに分かれ、各グループで以下に示す2つのテーマに沿って話し合いました。
- ・意見交換では、自身の意見を書き出した付箋を模造紙に貼りながら、グループ内のメンバーと議論を行い、最終発表を実施しました。

■ 話し合いのテーマ

【テーマ①沼田に住んでいて良かったこと・困ったことベスト3】[30分]

- 地域独自の魅力、市外にアピールできること、便利や満足なところ他の地域にはない特徴を考えてみましょう。
- 他の地域と比べ不足しているもの、不便なところを考え、「もっとこうしたい」を考えてみましょう。

【テーマ②20年後のぬまたはどんな姿？】[30分]

- 立地適正化計画の想定している20年後を見据え、将来どんなまちになってもらいたいか、自宅周辺にどんな風景が広がっていてほしいか、地域の目指すべき姿を考えてみましょう。
- 目指すべき姿のために必要な取組を考えてみましょう。

■ 話し合いの流れ

付箋に意見を書き出す

付箋をもとに意見交換

意見の整理
(模造紙にまとめる)

4. 当日の様子

■ 会場の様子

- ・各グループ4～5名でグループワークを実施しました。
- ・概要説明では、ぬまたの“いま”と“これから”、未来のぬまたをつくる等について説明しました。



■ 各班の議論の様子

- ・グループごとにテーマに沿って個人で意見を付箋に書き出し、グループ全員で意見交換しました。
- ・グループ全員で議論している様子が以下の写真からわかると思います。

【第一部】

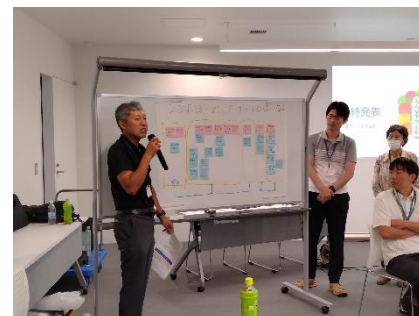


【第二部】



■ 各班の発表の様子

- ・最終発表(テーマ①、②について)を行い、グループごとに出た意見を全体で共有しました。



ぬまた未来共創会議 開催概要（2/2）

5. 主な意見

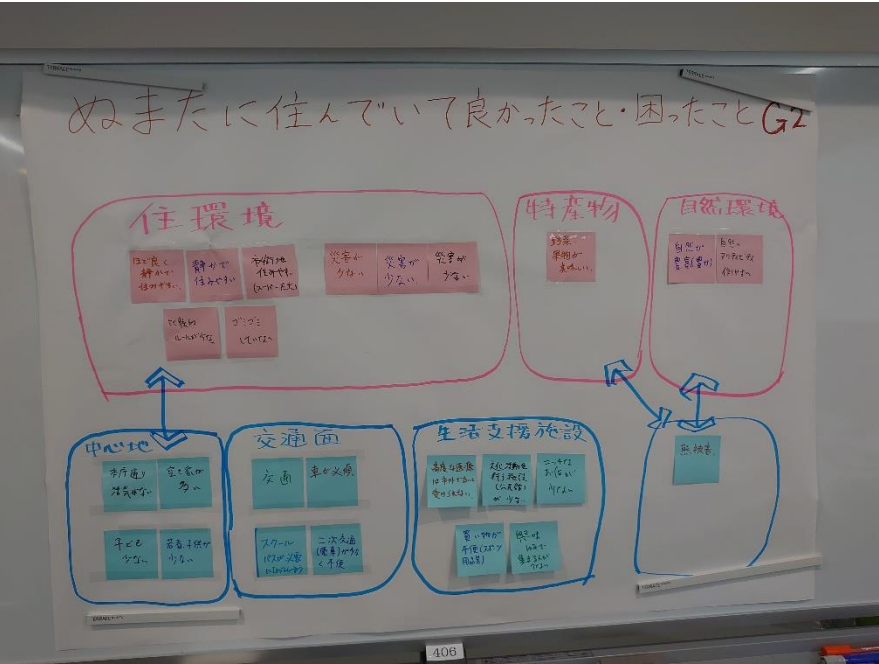
■テーマ1：沼田に住んでいて良かったこと・困ったこと

良かったこと	困ったこと
【自然】自然豊か、フワフワの雪が降る、水がきれいでおいしい 【観光】観光資源が多い、ウィンタースポーツなどのアクティビティが楽しめる。 【産業】農業が盛んで、野菜・果物が美味しい。 【交通】ICがあり、市外・県外からのアクセスが良好 【居住】居住環境が静か 【災害】災害被害が少ない	【交通】公共交通機関の便が悪い（電車とバスの接続が悪い）、車がないと生活できない。子どもの送迎に車が欠かせないため、習い事などの制限がある 【施設】沼田駅前などの中心市街地もお店が少ない。空き家も多い。ふらっと立ち寄れる場所がない。若者が遊べる場所が少ない。 【交流】地域間のつながりが弱い。若者や子供が少ない

■テーマ2：20年後のぬまたはどんな姿？

項目	20年後の沼田の目指す姿	目指す姿のために必要なこと
立地適正化計画に反映すべき意見	- 徒歩圏内で生活できる（車がなくても生活できる） - 交通が便利で、移動に不便しない	- 歩いて暮らせるまちの構造（コンパクトシティ）の検討 - 歩道の整備（歩道拡張も含む） - デマンドバス・カーシェア・ライドシェアの普及、自動運転の実現 - サイクルツーリズムや自転車専用道路の整備
	- まちなかに人があふれている - 魅力的な拠点の創出 - 市役所周辺の発展	- 人が集まる場所（寄合所、おしゃれなカフェ等）の整備 - 中規模のショッピングモールの整備、栄町のショッピングモールを核としたまちづくり - 電車待ちできるスペースの整備、空き場所の活用 - まちなかを巡るイベントの実施
	子育てしやすいまちづくり（地域全体で子供を育てる）	- あいさつや声かけ、通学時間帯に大人が見守り - 子ども同士が過ごせる場所づくり、子どもの教育会の実施
市全体のまちづくりに反映すべき意見	利根沼田の中心的な医療機関がある	- 医療機関との連携 - オンライン診療、薬のドローン配送
	沼田ブランドの構築	- 河岸段丘の利活用（ライトアップ等） - SNS映えするスイーツの開発、温泉や果物のPR、情報発信の強化 - お城の再建、大正ロマンエリアの活性化
	自然と都市の共存（世界的な森林文化都市）	- 森林の適正管理 - 公園の新設 - 木育の推進
	市民が主役のまちづくり	- 民と官の共創 - 多世代が活躍、若者が戻ってこられる循環づくり - 起業を手助けする仕組み

■テーマ1：沼田に住んでいて良かったこと・困ったこと



■テーマ2：20年後のぬまたはどんな姿？

